

### ■英国：Ofgem が国際連系線の新設を促進する新たな規制枠組みを提案

英国のガス・電力市場規制局（Ofgem）は 2014 年 5 月 23 日、国際連系線の新設を促進するための新たな規制枠組み「キャップ&フロア（cap and floor）」を提案した。この枠組みは、特定の国際連系線事業について、事業者の収入に上限および下限を設定、事業者の収入が上限を超えた場合、事業者は需要家に超過額を還元し、収入が下限を下回った場合は、需要家はその不足額を負担する仕組み。上限および下限の水準については、個々の国際連系線事業に応じて、事業者の計画を査定したうえで設定する。Ofgem は、市場に委ねるだけでは、国際連系線への十分な投資が引き出せないと判断、2014 年秋頃に運用を開始する見込み。同国は既に 4 系統の国際連系線（容量合計 400 万 kW）を保有しているが、国際連系網をさらに強化し、電力の安定供給強化等を図る。